

1 平成21年度予算案の全体像

(1) 予算編成の基本方針

市民との協働のもと、政令指定都市にふさわしい基盤の構築とさいたま市らしいまちづくりを進め、名実ともに理想都市の実現に向け、更なるステップアップを実現する予算編成を実施。

重要政策事業への予算の重点配分

「子育て支援」・「安心安全」・「環境」3キーワード事業の推進

経済対策・雇用促進へのスピーディーな対応

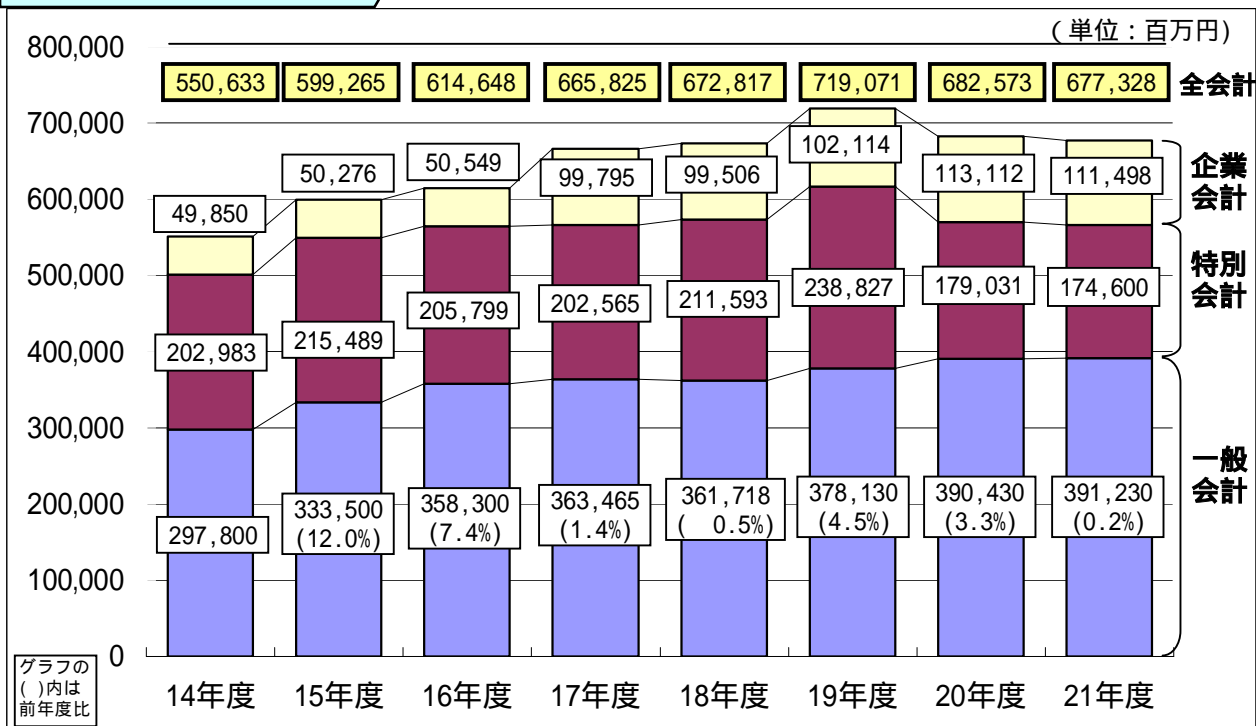
市民ニーズに的確に対応した予算編成

健全財政の維持と自立都市の形成

(2) 予算規模

会計	平成21年度	平成20年度	増減
一般会計	3,912億3,000万円	3,904億3,000万円	8億円増(0.2%増)
特別会計	1,746億0,000万円	1,790億3,100万円	44億3,100万円減(2.5%減)
企業会計	1,114億9,829万円	1,131億1,192万円	16億1,363万円減(1.4%減)
合計	6,773億2,829万円	6,825億7,292万円	52億4,463万円減(0.8%減)

予算規模の推移



(3) 予算の特徴

重要政策事業への予算の重点配分

平成 2 1 年度重要政策事業 (8 0 事業) への予算の重点配分

平成 2 1 年度 約 4 7 9 億円 (対前年度比約 1 3 6 億円、約 4 0 % 増)
(平成 2 1 年度重要政策事業の対前年度一般会計ベースの比較)

< 主な事業 >

- ・ **埼玉高速鉄道 (地下鉄 7 号線) の延伸促進** 3 0 , 0 0 0 千円
(基本計画調査、沿線のまちづくり調査)
- ・ **(仮称) サッカープラザ整備事業** 2 1 , 7 1 7 千円
(財産交換契約締結、本体工事着工、展示関連資料調査等)
- ・ **(仮称) 岩槻人形会館整備事業** 2 1 , 5 3 0 千円
(管理運営計画の策定)
- ・ **盆栽文化・活用事業** 9 4 9 , 1 1 7 千円
(建設工事等、平成 2 2 年 3 月開館予定)
- ・ **新型インフルエンザ対策事業** 6 8 6 , 2 4 0 千円
(タミフルの備蓄、陰圧テント等資器材の購入、図上訓練等)
- ・ **(仮称) さいたま市子ども総合センター整備事業** 8 , 1 6 4 千円
(子ども総合センター整備に向けての検討)
- ・ **ナーサリールーム事業** 1 , 1 6 8 , 1 3 8 千円
(ナーサリールーム・家庭保育室の保護者負担を月額 2 万円減)
- ・ **妊婦健診公費負担の拡大** 9 1 9 , 9 9 3 千円
(妊婦健診公費負担を 5 回から 1 4 回に拡大)
- ・ **地球温暖化防止対策事業** 2 9 7 , 8 7 2 千円
(さいたま新都心コンコース LED、太陽光発電設置補助等)
- ・ **交通環境対策事業** 4 1 , 3 5 9 千円
(電気自動車の導入、低公害車導入促進)

- ・ **さいたま市テクニカルブランド企業認証事業** 25,570千円
 (認証企業のPR及び支援を実施)
- ・ **中小企業資金融資事業** 10,006,124千円
 (中小企業資金融資の拡充。融資枠109億円増)
- ・ **緑の核づくり公園整備事業** 730,366千円
 (街区公園等を整備し、市民に憩いの場を提供)
- ・ **武蔵浦和駅周辺地区市街地再開発事業(第1街区)**
 (市街地再開発事業の支援) 3,633,000千円
- ・ **大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業** 25,344千円
 (地域戦略ビジョンを策定)
- ・ **暮らしの道路・スマイルロード整備事業** 2,407,900千円
 (生活道路の整備)
- ・ **さいたま市既存建築物耐震補強等助成事業** 188,836千円
 (民間建築物の耐震助成、耐震診断員の派遣)
- ・ **公共施設耐震化事業** 4,861,126千円
 (小・中・高等学校、コミュニティセンターほか)
- ・ **消防署・所の整備** 23,735千円
 (大宮消防署下町出張所移転基本・実施設計等)
- ・ **美園地区新設校建設事業** 92,500千円
 (美園地区に新設する小学校の基本設計等を実施)
- ・ **市立養護学校・内野地区公民館整備事業** 17,000千円
 (市立養護学校の拡充及び内野地区公民館建設に向けての検討)
- ・ **全国生涯学習フェスティバル** 39,300千円
 (埼玉県で開催される事業と合わせ市主催事業を実施)

「子育て支援」「安心安全」「環境」3キーワード事業の推進

子育て支援事業（87事業）

平成21年度 約317億円（対前年度比約44億円、約16%増）*

➤ 児童福祉分野

ナーサリールーム・家庭保育室の保育料負担の軽減(月額2万円)、
(仮称)子ども総合センター開設に向けての検討、
児童センター整備事業、放課後児童健全育成事業、
子育て支援医療費助成事業、ハローエンゼル訪問事業 ほか

➤ 保健分野

妊婦健診公費負担の拡大(5回から14回)、子ども急患電話相談、
第二次小児救急医療の実施、子ども虐待予防家庭訪問事業 ほか

➤ 教育分野

学校給食施設整備事業、美園地区新設校建設事業、理科支援員の配置、
特別支援学校整備(三室地区) ほか

安心安全事業（74事業）

平成21年度 約168億円（対前年度比約30億円、約22%増）*

➤ 建物等の安全性の確保

公共施設耐震化事業(小・中・高等学校、コミュニティセンターほか)

➤ 暮らしの安心・安全策

新型インフルエンザ対策

(タミフル27万人分の購入、資器材の購入、図上訓練実施)

避難所夜間訓練の実施(平成21年度 20か所(10か所増))

災害用マンホール型トイレの設置、地域防災リーダーの養成

消費生活相談員の増員による相談体制の充実 ほか

環境事業（４８事業）

平成２１年度 約１０１億円（対前年度比約４３億円、約７５％増）*

➤ 地球温暖化対策事業

太陽光発電の積極的導入（住宅用太陽光発電システム設置補助等）

LED照明の積極的導入（街路灯、商店街街路灯、さいたま新都心コンコース）ほか

➤ 交通環境対策事業

電気自動車の導入、低公害車等補助事業 ほか

➤ 緑地保全・公園整備等

緑の核づくり公園整備事業、その他都市公園の整備、

自然緑地の保全・整備事業 ほか

< 参考 >

平成２０年度のキーワード「オリジナリティー」を継承し、さいたま市らしさを発信

➤ さいたま文化の発信

盆栽関連施設整備事業（平成２２年３月開館予定）

（仮称）岩槻人形会館整備事業（平成２３年度開設予定）

（仮称）サッカープラザ整備事業（平成２５年度開設予定）

鉄道文化の振興

さいたま市民まつりの開催 など

➤ さいたま市独自の施策

さいたまんがの発行

区まちづくり推進事業

さいたま市テクニカルブランド企業認証事業 など

* 金額は一般会計ベースの金額であり、対前年度比較は、平成２１年度キーワード事業の前年度予算額との比較

経済対策・雇用促進へのスピーディーな対応

市内中小企業の経営安定化を図るとともに、市民生活の安心・安全を確保するため、「中小企業の安定化対策」、「市民生活の安心・安全確保対策」、「公共事業による活性化対策」を柱に、スピーディーかつ切れ目のない対応を実施

平成21年度 29事業 約347億円

(対前年度比約109億円、約46%増)

中小企業の安定化対策

➤ 中小企業資金融資の増額確保

平成21年度 約100億円(対前年度比約49億円、約96%増)

*融資枠 約350億円(対前年度比約109億円、約45%増)

➤ 市内企業の経営強化

テクニカルブランド企業認証事業の推進、産業振興ビジョン推進事業

市民生活の安心・安全確保対策

➤ 生活支援

・ナーサリールーム・家庭保育室の保護者負担の軽減

月額約2万円、総額約4億7千万円の軽減

・妊婦健診公費負担の拡大

現行5回を14回に拡大(約5億4千万円の軽減)

・消費生活相談員の増員による相談体制の充実

➤ 就業・雇用支援対策

・緊急雇用確保事業(臨時職員100人程度)

・(仮称)キャリアサポート事業

公共事業による活性化対策

・スマイルロード・暮らしの道路整備の拡充

平成21年度 約24億円(対前年度比約3.6億円、約18%増)

・学校等公共施設耐震補強の拡充

平成21年度 約49億円(対前年度比約19億円、約64%増)

・下水道事業会計工事費の拡充

平成21年度 約140億円(対前年度比約23億円、約20%増)

市民ニーズに的確に対応した予算編成

教育機会の均等な提供のための予算対応

- 美園地区新設小学校の整備
- 新設特別支援学校の整備（三室地区）
- 少人数サポート事業の実施
- 理科支援員を全校へ配置

子育て支援を明確に示す予算対応

- （仮称）子ども総合センター開設に向けての検討
- ナーサリールーム・家庭保育室の保育料負担の軽減
月額約2万円、総額約4億7千万円の軽減
- 妊婦健診公費負担の拡大
現行5回を14回に拡大（約5億4千万円の軽減）
- 子ども急患電話相談（平成20年10月より時間延長）

市民サービス向上のための予算対応

- 谷田・東岩槻市民の窓口を支所へ（平成21年4月1日）
- 住民相談・消費生活相談の拡充（相談時間の増、相談員の拡充）
- 内野地区公民館建設に向けての検討
- コミュニティバスの拡充（市民医療センターへ）

生活基盤整備のための予算対応

- スマイルロード・暮らしの道路整備の拡充
平成21年度 約24億円（対前年度比約3.6億円、約18%増）
- 西大宮駅周辺の整備（平成21年3月西大宮駅開業）
- 日進駅の改修（平成22年度供用開始予定）
- 指扇駅・岩槻駅の橋上化に向けての設計業務

公共施設の安定利用のための予算対応

- 公共施設の安心安全対策
公共施設耐震化事業（小・中・高等学校、コミュニティセンターほか）
公園遊具あんしんあんぜん緊急対策、市民プール等の改修 など

* 各項目における事業数及び事業費は、再掲事業を含む。

健全財政の維持と自立都市の形成

さいたま市行政改革推進プランへの取組み

平成20年9月公表の「中期財政収支見通しのフォローアップ」において、平成21年度当初予算は、約108億円の財源が不足する見通しになっていましたが、予算編成における次の取組みによって、単年度で約88億円の行政改革効果を生み出しました。

◆分権型社会に対応した行政体制の確立

☞人件費の削減 (1,048百万円)

11億円

◆民間活力の導入

☞民間への委託化の導入 (153百万円)

1億円

◆健全な財政運営の確保

～市民負担等のあり方の見直し～

☞各種補助金や給付の見直し (72百万円)

☞使用料、手数料の見直し (1百万円)

1億円

◆健全な財政運営の確保

～事業、既存施設等の再編、廃止～

☞事業の選択と集中及び事業進ちょくに応じた

普通建設事業費の適切な予算配分 (2,613百万円)

☞既存事業の見直し、再編によるコスト削減

(689百万円)

33億円

◆健全な財政運営の確保

～自主財源の確保・拡充～

☞施設の有効活用による財源の確保

(54百万円)

☞市有地の売却による財源の確保

(675百万円)

☞市税等の徴収率の向上による財源の確保

(901百万円)

☞特定事業への財源(基金)の確保と有効活用等

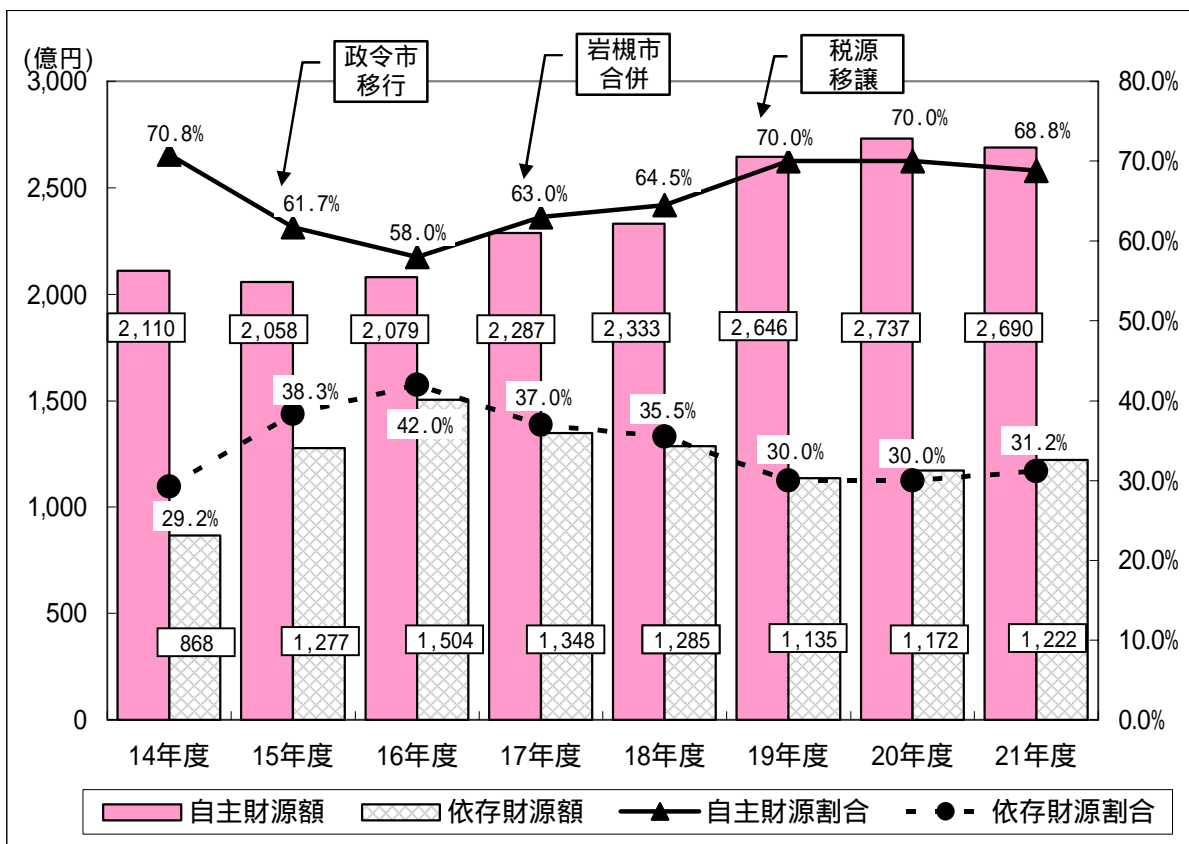
(2,624百万円)

42億円

自主財源の確保による自立都市の形成

法人市民税の減収が見込まれる厳しい財政状況のなかで、個人市民税や固定資産税の確保、財政調整基金等の活用により、自主財源を確保し、自立都市の形成を推進。

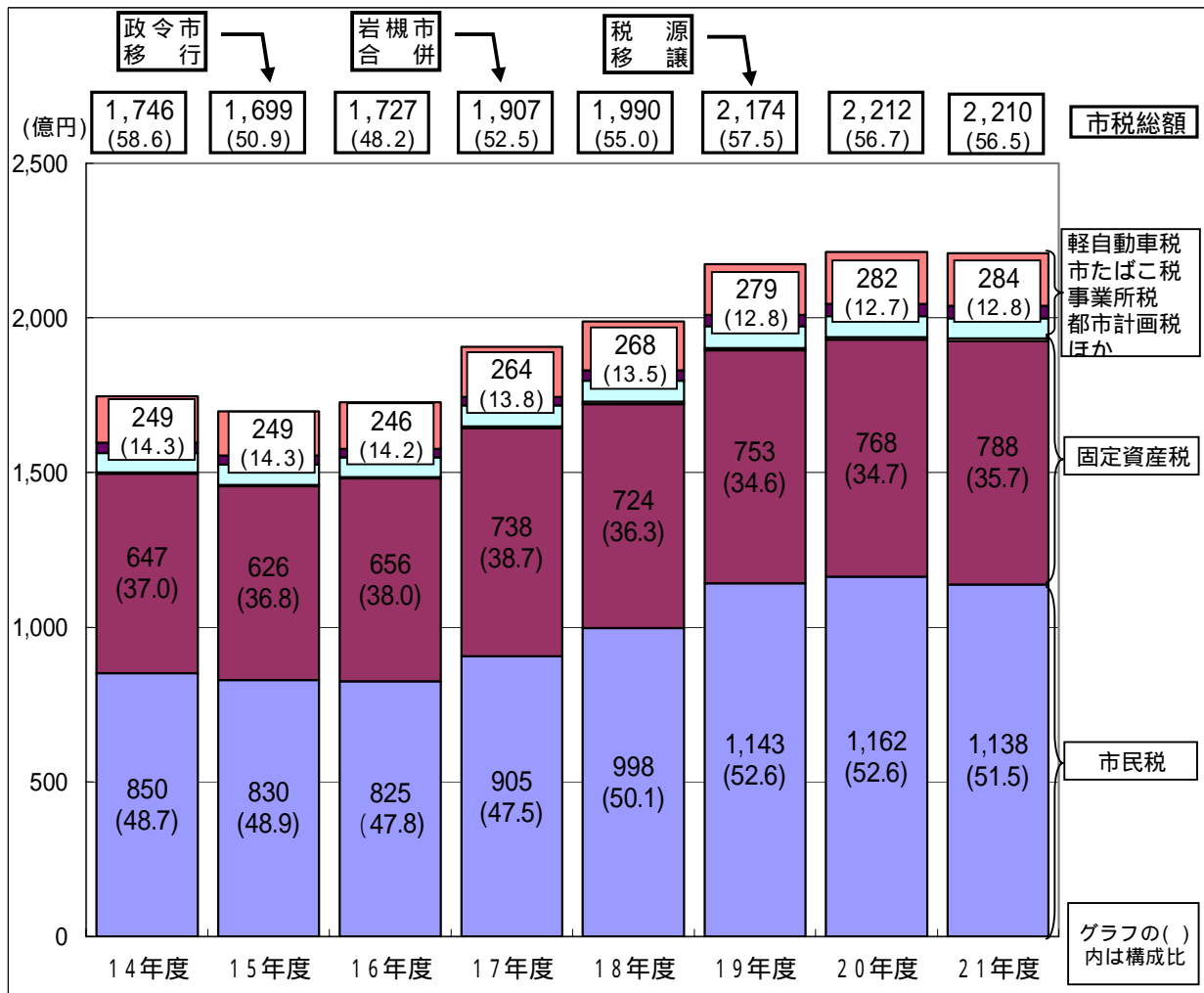
< 自主財源の推移 >



< 基金の活用 >

経済対策・雇用促進や、学校耐震化の早期実現など、緊急の課題に対して積極的な対策を講じるため、財政調整基金を活用し財源を確保。

< 市税収入の推移 >



< 参考 >

地方財政計画における地方税の割合

(億円)

年 度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
歳入総額	875,666	862,107	846,669	837,687	831,508	831,261	834,014	825,600
地方税	342,563	321,725	323,231	333,189	348,983	403,728	404,703	361,860
割合(%)	39.1	37.3	38.2	39.8	42.0	48.6	48.5	43.8

- 地方財政計画における地方税割合よりも高位で推移

< 市税等収入の確保対策 >

- 債権回収対策課の設置 (平成20年10月1日から)
債権所管課から引継を受けた高額困難事案について集中的に滞納整理を実施

* 平成21年度の市税内訳はP.13を参照